

平成23年3月11日発生 東日本大震災

みやぎの農業農村

復旧復興のあゆみ

（復旧から再生へ）

平成26年3月

宮城県農林水産部

農村振興課

農村整備課

農地復興推進室



大島

気仙沼港



釜谷

大川中

橋浦

新北上川

石巻港

大曲

陸前赤井駅

三陸自動車道

定川

石巻港IC





仙台港

長浜

七北田川

新浜

真山掘

鳥の海

阿武隈川

岩沼IC

仙台県道295号



「みやぎの農業農村復旧復興のあゆみ」の発刊にあたって

宮城県内に未曾有の被害をもたらした平成23年3月11日の東日本大震災から3年が過ぎました。全国の皆さまから多くのご支援をいただき、復旧復興が着実に進んでいます。

これまで本県では、早期の営農再開を目標に震災直後から迅速な復旧活動を行うとともに、津波被災地域全体の復旧工程を示すロードマップを公表し、営農再開地域を拡大してきました。過去に経験したことのない大規模災害からここまで復旧できたのは、被災者の皆さまの並々ならぬご努力と関係職員の一丸となった奮闘に加えて、国や関係機関からいただいた多大なるご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、本県には、限られた人員体制にもかかわらず、各都道県から多数の職員を派遣していただいております。農業土木分野において、平成25年度は28都道県から68名の関係職員が派遣され、業務にご尽力いただいております。感謝の念に堪えません。

平成25年度は、宮城県震災復興計画で定める「復旧期」の最終年度となり、平成26年度からは「再生期」がスタートします。本県では、全国の皆さまからのご支援への感謝と併せて、震災による被害や未曾有の災害から地域が再び立ち上がっていった記憶が風化することのないよう「みやぎの農業農村復興 未来への伝承・架け橋プロジェクト」を平成24年度より開始しています。これまで、地方自治法に基づき本県に職員派遣されている都道県を中心にパネル展やセミナーを開催し、感謝の意とこれまでの取り組みの成果について発信してきました。本誌もその一環として、これまでの復旧状況およびこれからの取り組みについて整理したものです。本誌をご覧ください、被災からの復旧復興の記憶をとどめていただくとともに、各地域の防災・減災の参考にしていただければ幸いです。

今後も、全国の皆さまと手をたずさえて、前に進んでまいりたいと考えておりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年3月

宮城県農林水産部長 山田義輝



目 次

I. 被害の概要

1 宮城県内の東日本大震災被害概要	1
2 農地・農業用施設等の被害状況	2
3 沿岸部の農地・農業用施設等の被害状況	4

II. 復旧復興に向けて

1 宮城県震災復興計画	29
2 みやぎの農業・農村復興計画	30
3 復旧復興に向けた組織体制整備	31

III. 復旧への取り組み

1 沿岸3事務所の初動対応	35
2 応急排水対策	39
3 災害査定	40
4 農地の除塩用水	48
5 直轄災害復旧	52
6 災害復旧工事	55

IV. 復興への取り組み

1 東日本大震災復興交付金事業への取り組み	61
2 土地改良制度を活用した復興まちづくりとの連携	63
3 大規模経営の実現に向けた取り組み	64

V. 未来への伝承・架け橋プロジェクト

1 プロジェクトの概要と実績	65
2 みやぎの農業農村復旧復興シンポジウムの開催	73

VI. 農業農村の復旧復興～これまでの歩み～

1 農業農村の復旧復興～これまでの歩み～	77
----------------------	----

VII. 参考資料

1 2014シンポジウム パネルディスカッション記録	93
2 技術成果発表要旨集	111
3 内陸部災害復旧工事施工事例	119
4 職員手記	137
